
いつかあの日まで

ぼー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつかあの日まで

【Nコード】

N2175E

【作者名】

ぼー

【あらすじ】

綾芽高校に通う神城冬弥（かみぎふゆい）が桜の木の下で出会った少女との日常を描いていく恋愛？ストーリー

0 話（前書き）

間違いや感想、アドバイスなど言ってもらえるとうれしいです。

0 話

桜が舞う季節、それぞれが色々な道に進み始める。

俺は今、高校生活の第一歩を踏み出そうとしている。今日が綾芽^{あや}高校の入学式だ。俺は最近、この高校に通うために引越してきた。前の住んでいたところからでは遠すぎるのだ。今、俺は校門の前にいる。時刻は7時半過ぎってところだ。余裕を持って行動し、その結果かなり早くについてしまった。

「はあ、まだ誰も来ていないよな」

早くきて後悔した。

暇だし校内でも散歩しよう。入学式は8時半に席についたらいいのだ。後、1時間もある。

しかし、この学校は広すぎる。なぜ敷地内に森があるんだ？やばい！迷子になってしまふ。って、すでに迷子になっている。

まわりをよく見てみると、大きな桜の木が高々と立っている。

俺は無意識のうちにその桜の木へ近づいていた。

「あれ？誰か人がいるぞ！おい、体育館まで連れて行ってくれー」

一人の少女が声に気付きこちらを向いた。
遠くてよく見えなかったが、近づいてみるとそこにはかなりの美少女がいた。

0 話（後書き）

短くてすいません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2175e/>

いつかあの日まで

2011年1月20日03時29分発行